

11月11日(金) 18:00~20:00

時間	内容	会場
18:00~20:00	常任理事会	総研棟 7F AB 会場

第1日目 11月12日(土) 12:30~17:40 (役員会は10:30~)

時間	内容	会場
10:30~12:00	理事会・評議員会	総研棟 7F AB 会場
12:00~	大会受付開始	
12:30~13:30	ポスター発表コアタイム	総研棟 7F 通路
<p>一般講演ポスター発表 (展示は2日目の15時まで) ○:発表者、※:優秀講演発表賞対象者 ★優秀講演発表賞対象者は、可能な限り懇親会に参加してください</p>		
P-1	※○森井清仁(滋賀県大・環境)・中野光議(金沢大・環日本海域環境)・岩間憲治(滋賀県大・環境) ・高倉耕一(滋賀県大・環境) なぜカワリヌマエビ属は農業用水路の上流部に多いのか〜スジエビ・外来カワリヌマエビ属の酸欠耐性〜	
P-2	※○遠藤耕平・高倉耕一(滋賀県大院・環境) ホトケノザの開鎖花と花粉媒介者—訪花頻度は花の違いで変化する?—	
P-3	※○北野大輔 ¹ ・山上繁政 ¹ ・本間 淳 ^{1,2} ・高倉耕一 ¹ (1:滋賀県大院・環境・2:琉球産経) 検疫害虫ミバエ類の寄主植物は推定できるか?—その技術開発と課題	
P-4	○木村悟朗・片岡義博・池尻幸雄・谷川 力(イカリ消毒㈱) 宇治川におけるトビケラ類のケミカルライトによる灯火採集	
P-5	※○浅井源二郎・村林陽太郎・田中裕美・板倉修司(近畿大学農学部) 2本鎖RNAによるシロアリ制御	
P-6	※○古川真莉子・高倉耕一・中西康介・沢田裕一・西田隆義(滋賀県大・環境) イラガの化性の変化は異なる繁殖集団によるものか	
P-7	※○岡田峻典 ¹ ・崔 翔気 ¹ ・平林公男 ² (1:信州大学大学院総合理工学研究科・2:信州大学学術研究院理工学域) 千曲川中流域におけるユスリカ類の羽化量の季節変化	
P-8	※○崔 翔気 ¹ ・岡田峻典 ¹ ・平林公男 ² (1:信州大学大学院総合理工学研究科・2:信州大学学術研究院理工学域) 一つの瀬におけるヒゲナガカワトビケラの二次生産速度の推定—瞬間成長法と羽化法を用いて	
13:30~16:30	一般講演 ○:発表者、※:優秀講演発表賞対象者 座長は最初を除いて前の講演者をお願いします	
総研棟 7F AB 会場		
13:30	A-1 ※○森井清仁(滋賀県大・環境)・中野光議(金沢大・環日本海域環境)・高倉耕一(滋賀県大・環境) 環境変化により同所的繁殖を強いられた近縁シマドジョウ属2種の再生産	
13:45	A-2 ※○山上繁政・北野大輔(滋賀県大院・環境)・藤井暢之(滋賀県大院・環境・植物防疫所)・本間淳(琉球産経㈱)・西田隆義・沢田裕一・高倉耕一(滋賀県大・環境) <i>Bactrocera</i> 属ミバエ類のモデル生物としてのミスジミバエの基礎生態 I	
14:00	A-3 ※○杉岡弘基・引土知幸・川尻由美・中山幸治(大日本除虫菊㈱・中央研究所)・齋藤博美(㈱ユニフロー) 業務用シートシャッターの防虫効果に関する検討	
14:15	A-4 ※○菅谷和希*・新里達也(㈱環境指標生物) 農薬が水田生物群集に及ぼす影響評価手法の検討	
14:30	A-5 ※○森山太介・清水伸泰(京都学園大学) コナダニ由来の炭化水素合成酵素の酵素学的諸性質	
14:45	休憩	
15:00	A-6 ※○坂田裕介・中嶋智子・片山哲郎・福浦祐介・原田克也(京都府保健環境研究所)・分銅絵美(京都市伏見区アルゼンチンアリ根絶協議会) 京都市伏見区におけるアルゼンチンアリ地域一斉防除の現状について 3	
15:15	A-7 ※○渡辺祐基・築瀬佳之・藤井義久(京都大学大学院農学研究科) チビタケナガシクイの産卵行動の非破壊評価手法の検討	
15:30	A-8 ※○吉田 周・平井規央・上田昇平・石井 実(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科) 大阪および京都市周辺でのツマグロヒョウモンの越冬	
15:45	A-9 (森林総研)○大村和香子・鈴木養樹(台湾成功大)北條優 シロアリ大顎先端部の強度測定と脱皮個体の調製	
16:00	A-10 ○高倉耕一(滋賀県大・環境)・中西康介(琵琶湖博物館/滋賀県大・環境)・古川真莉子・西田隆 トノサマガエル属2種の種判別のための核 DNA マーカーの開発	
16:15	A-11 ○中西康介(琵琶湖博物館/滋賀県大・環境)・古川真莉子・高倉耕一・西田隆義(滋賀県大・環境) 同所的に生息するトノサマガエル属2種の繁殖フェノロジーと幼生の発生状況	
16:40	総会(総研棟 7F AB 会場)	
17:40	学会賞 受賞講演	
18:00~20:00	懇親会 マルベリーホール 1階 優秀講演発表賞 表彰	

第2日目 11月13日(日) 9:00~16:10

9:00~12:00 一般講演 ○:発表者		座長は最初を除いて前の講演者をお願いします
総研棟7F A会場		総研棟7F B会場
9:00	A-21 ○上村 清(丸三製薬バイオテック(株))・林 靖彦(川西市) 北アルプス常念岳において腐食トラップで捕獲された甲虫類の垂直分布と季節的消長	B-21 ○住田雄亮 ^{1,2} ・川田 均 ² ・皆川 昇 ² (1:住友化学・2:長崎大・熱研) 蒸散したノックダウン型ピレスロイドのイエバエ体内への侵入経路
9:15	A-22 ○広渡俊哉(九大院・農)・佐々木公隆(福岡市)・屋宜禎央(九大院・生資環) 福岡市近郊で発生したギンスジヒゲナガの生態	B-22 ○中嶋智子・福浦祐介・坂田裕介・片山哲郎(京都府保健環境研究所) ヒト囹、ドライアイス併用ライトトラップ、BG-センチネル2型トラップの3種類の調査法を用いた蚊類調査
9:30	A-23 ○江田慧子(帝京科学大学)・矢崎耀一(長野県)・中村寛志(信州大学) チャマダラセセリの産卵と草原管理の関係	B-23 ○上村 清(丸三製薬バイオテック)・小林 貞(川崎市)・青木淳一(東京都)・平林公男(信州大繊維)・山内健生(兵庫県大) 佐々学が新種記載したユスリカなどの動物目録について
9:45	A-24 江田慧子(帝京科学大学)・野瀬菜摘(信州大学農学部)・○中村寛志(信州大学) チャマダラセセリのケージペアリングと人工産卵手法	B-24 ○宮地隆太・藤島直樹・吉田真也・松原晶(アース製薬研究部) 飲食物物が散乱した住宅(ゴミ屋敷)におけるフィプロニルを有効成分としたゴキブリ用毒餌剤の効力評価
10:00	A-25 ○平井規央 ¹ ・大津建大 ¹ ・石井 実 ¹ ・鈴木文詞 ² ・天野 洋 ³ (1:大阪府大院・2:農工大院・3:京大院) 気候変動シミュレーターを用いた日本列島におけるクロマダラソテツシジミの定着可能性の推定	B-25 ○富岡康浩 ¹ ・松本和馬 ² ・佐竹宏康 ¹ ・木村悟朗 ¹ ・谷川 力 ¹ (1:イカリ消毒株式会社・2:国際環境研究協会) 関東および東北地方の内陸部におけるモリチャバネゴキブリの分布
10:15	休憩	
10:30	A-26 ○内海與三郎・鈴江光良・安藝良平(アース・バイオケミカル(株))・盛 治夫(徳島県民環境部自然環境戦略課)・西垣 司・小柴 俊博(養父市森林組合) トウガラシ抽出物を含有するエアゾール剤のニホンジカに対する食害防止効果	B-26 ○辻 英明(環境生物研究会) 野外クロゴキブリ成虫集団の潜伏・活動サイクル
10:45	A-27 佐藤 容 ¹ ・江藤 毅 ¹ ・櫻村 敦 ² ・畑中美穂 ³ ・○森田哲夫 ¹ (1:宮崎大学農学部・2:東海大学農学部・3:宮崎大学農学研究科) ジャコウネズミ <i>Suncus murinus</i> の日内休眠の特徴	B-27 Ikhsan Guswenrivoa & b, Hiroki Satoc・Izumi Fujimotoa・Tsuyoshi Yoshimura An ectoparasitic fungi <i>Antennopsis gallica</i> found on <i>Reticulitermes</i> spp. in Japan
11:00	A-28 坂本文夫(京都ニホンミツバチ研究所、京都学園大学)・細見一樹、伊藤 愛(京都学園大学・バイオ環境学部)・河合秀二郎(京都市在住養蜂家) 京都府におけるニホンミツバチへのアカリンダニ寄生	B-28 S. Khoirul Himmi・Tsuyoshi Yoshimura・Yoshiyuki Yanase・Masao Oya・Toshiyuki Torigoe・Setsuo Imazu・Akada Masanori Colony founding from nuptial flight of the drywood termite, <i>Incisitermes minor</i>
11:15	A-29 石山良範・佐藤 浩・○山田道夫(大成ファインケミカル(株)) 防虫ランプの防虫効果はそのままに、色を無色化することができるか	B-29 ○Didi Tarmadi ^{1,2} , Yuki Tobimatsu ¹ , Masaomi Yamamura ¹ , Yasuyuki Miyagawa ¹ , Takuji Miyamoto ¹ , Toshiaki Umezawa ¹ , Tsuyoshi Yoshimura ¹ (1: Research Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University, Uji, Japan・2: Research Center for Biomaterials, Indonesian Institute of Sciences, Bogor, Indonesia) The Effect of Varied Lignins on Biological Changes of a Lower Termite, <i>Coptotermes formosanus</i> Shiraki and Its Intestinal Protist Profiles
11:30	A-30 ○山崎一夫(大阪市立環境科学研究所) 植物の昆虫擬態	B-30 ○築瀬佳之(京都大学大学院農学研究科)、森 拓郎、上田陽太(京都大学生存圏研究所) 平成28年熊本地震における木造住宅の生物劣化調査
11:45~13:00 昼食		編集委員会(ミーティングルーム1)

13:00~16:10 市民公開 特別講演、シンポジウム（総研棟7F AB会場）

13:00-14:00

市民公開 特別講演 座長 平林公男(信州大学)

「ざざむしシルクとは？－信州産新素材としての可能性」

大川浩作 (信州大学先鋭領域融合研究群国際ファイバー工学研究所)

14:00-16:10

市民公開シンポジウム 「山岳環境と生物多様性・生物の適応戦略」

座長 中村寛志(信州大学名誉教授)

「標高傾度に沿った昆虫類の遺伝的分化」

上田昇平(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)

「上高地の歴史とチョウ類群集」

江田慧子 (帝京科学大学)

「シナイモツゴはなぜ希少種になったのか

－ わずかな種間差が引き起こす絶滅のメカニズム－」

小西 繭(信州大学理学部)

「人と野生動物との新たな関係の構築を目指して」

泉山茂之(信州大学先鋭領域融合研究群山岳科学研究所)